



# 第二中だより

No. 576

開校 54周年

生徒数 448名

令和3年2月1日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



## 「人事を尽くして天命を待つ」

校長 橋本 真

自粛生活の中、制限を強いられる日々の中でストレスを多く抱えながら私たちは、”ありがとう”よりも”不満”や”不安・恐怖”を感じたりすることのほうが多いのではないかと思います。また、あたりまえのように物や情報が溢れた状況下では、知らず知らずのうちに「感謝する心」に鈍感になってしまっているのではないだろうか、と考えてしまいます。ストレスの原因で多くある人間関係の問題も「感謝の気持ち」を持つことで、多かれ少なかれ良い方向に向かっていくと思います。自分から相手へ率先して感謝の気持ちを伝えることも、人間関係を円滑にする手助けとなります。

本校には、たくさんの方の「ありがとう」、感謝の言葉が、満ちあふれています。

「ありがとう」を言葉にすると、人は笑顔になります。

- ・給食当番を手伝ってくれて、ありがとう
- ・いつも沢山の話をしてくれて、ありがとう
- ・いつも、勉強を教えてくれてありがとう。
- ・両親へ、生んでくれて、ありがとう
- ・調理員さん、いつもおいしい給食ありがとう
- ・クラスみんなへ、笑顔と元気をありがとう
- ・いつも、一緒に帰ってくれてありがとう。
- ・配膳台ふき、手伝ってくれてありがとう

「1年生のありがとうの木」

「2年生のありがとうの雪だるま」

「3年生のありがとうの花」の中には、友だち、両親、調理員さんへの感謝の言葉でいっぱいでした。ありがとうは、お互いの良い面同士をつないで、優しい時間を作ってくれる。そして、困ったときは協力しようという姿勢と思いやりの心が二中学生の中に脈々と育って



きていることに、大変嬉しく思っています。

### 人事を尽くして、天命を待つ

2月3日は立春、暦の上では春の訪れとなります。今年の冬は、今のところ比較的暖かい冬ですが、健康には注意しながら、学校生活の一日一日を大切に過ごしてください。中国のことわざに「人事を尽くして、天命を待つ」というものがあります。「人として出来るかぎりのことをして、その上は、天命に任せて心を労しない」と辞書に書いてあります。しかし、この言葉は、決して神頼みの言葉ではありません、自分の願いや目標に向かって日々、ベストを尽くしていけば着実に前進し、必ず実を結ぶはずで。例え、すぐにその思いがかなわない事があっても、簡単にあきらめず粘り強く努力を続けていけば、その先に自分の歩む道があると考えています。2年生にとっては、進路選択が一年後と現実問題となってきました。2年生は一年後、1年生は二年後の姿を想像して、我が身を振り返り、日々の授業を真剣に受けることで、確かな学力を身に付けてください。3年生は、これまで自分が準備して取り組んできたことを信じて、持てる力を出し切ってください。不安は、受験生の誰もが抱えているはずで自分だけではありません。体調には気を付けて、気持ちを落ち着かせて平常心で臨んでください。

### 「かならずできる」「なんとしても」

現在3年生は、入試真っ只中です。すでに1月22日から私立高校の推薦入試が始まりました。2月26日には、埼玉県公立高校の学力検査が迫っています。3年生は、「こうしたい」という強い信念を持って、乗り切ってください。物事を成し遂げるためには、「必ずできる」という信念と「なんとしても」という情熱を持ち続けることが大切です。頑張ってください。